

日本移民学会 第 20 回年次大会



《会場》立命館大学 衣笠キャンパス 敬学館 2 階

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

program

2010.6.26 [Sat] - 27 [Sun]

【問合せ先】

〔大会実行委員長〕河原 典史

[TEL] 075-466-3201 [FAX] 075-466-3485

[E-mail] kawahara@lt.ritsumeai.ac.jp

〔事務局〕坂口 満宏

[TEL/FAX] 075-531-9102

[E-mail] imingakkai@gmail.com

1991年10月25-26の両日、日本移民学会は立命館大学末川会館において設立大会を催し、その産声をあげました。それから早くも20年の歳月が流れ、再び、本会創立の地ともいえるべき立命館大学において第20回大会を開催することになりました。

発足当初、130名余りであった会員は、今では400名に達しようとしています。会員数の増加とともに研究分野や対象も多様化してきました。そしてこうした動向に対応すべく、大会企画においてもさまざまな工夫を凝らしてきたところでもあります。

そこで今大会では、本会の歩みと今後の展望を考える20周年記念講演を主軸に据えるとともに、「原点に戻って語り合おう」を基本コンセプトとし、大会に参加された方々がゆとりをもって交流できる場と企画を提供することとしました。文字通り、大会参加者が大会を盛りあげ、楽しもうとするものです。どうぞ、奮ってご参加ください。

すべてのプログラムは、立命館大学衣笠キャンパス敬学館2階で開催されます。

敬学館は、衣笠キャンパスの南西奥にある教室棟です。一度、清心館の横から外の道路に出て、敬学館へお越しください。詳しくはキャンパスマップでご確認ください。

第1日目 2010.6.26 [Sat]

- 9:30-10:30 四役会議 (266)
- 10:30-12:30 第2回運営委員会 (266)
- 13:00- 受付開始 (2階ロビー)
- 13:30-13:40 会長あいさつ/吉田 亮
- 13:40-14:40 20周年記念基調講演 (250)
日本移民学会の歩みと展望 一次の20年に向けて/飯野正子 (津田塾大学)
- 14:50-15:10 20周年記念出版の概要説明 竹沢泰子 (京都大学) (250)
- 15:15-15:45 休憩 フリー・スペース オープンをご利用ください
- 15:45-17:00 ラウンドテーブル① 原点に戻って語り合おう (250)
野球を通してハワイ・アメリカの民族関係及び日系アメリカ人の歴史を再考する (代表: 戸上宗賢)
- 15:45-17:00 フリー・スペース オープン (252・253・254)
- 17:10-18:00 総会 (250)
- 18:30- 懇親会 (諒友館 地下食堂) 一般 5,000円/学生 3,000円 あらかじめお申し込みください

第2日目 2010.6.27 [Sun]

- 9:00- 受付開始 (2階ロビー)
- 9:00-14:30 フリー・スペース オープン (252・253・254)
- 9:30-9:45 自由論題報告者は、全員、各会場にて司会者と打ち合わせ
- 10:00-12:00 自由論題報告 (右ページの表を参照)
- 12:00-13:00 昼休み
- 13:00-14:30 ラウンドテーブル② 原点に戻って語り合おう (264)
地域を越えた日系移民教育史研究の可能性
—ブラジルにおける文化化エージェントとしての日系教育機関をてがかりに (代表: 根川幸男)
- 13:00-14:30 ラウンドテーブル③ 原点に戻って語り合おう (265)
在外日本人・日系人の強制移動を問い直す (代表: 米山 裕)
- 15:00- 第3回運営委員会 (266)

- 各プログラムの会場につきましては、敬学館の（教室番号）をご参照ください。
- 会員控え室としてフリー・スペース オープン（252・253・254）を設置しました。どうぞご利用ください。
- 廊下・ロビーにて書籍の展示販売も行います

《自由論題報告》

- ・ 9:30 ～ 9:45 報告者は全員、各開場にて打合せ
- ・ 10:00 ～ 12:00 会場別に報告

A 会場（敬学館 262）		司会：篠田左多江、糸井輝子
服部恵子（同志社大学・院）	カナダ・メソジスト教会女性宣教協会による移民教育活動 1900～1942年 — ブリティッシュ・コロンビア州における日系二世教育を中心に —	
庭山雄吉（東京大学・院）	日系カナダ人女性のライフ・ヒストリー — カナダと日本の狭間で（仮） —	
野村史織（中央大学）	恋愛と結婚をめぐる女性投稿短歌：20世紀はじめの「日米新聞」を中心に	
田中健二（摂南大学）	ビデオ From the Far East to the Old West: Chinese & Japanese Settlers in Montana は日本人をどう描写したか？— マンスフィールド財団製作ビデオの音声筆記をもとに —	
B 会場（敬学館 263）		司会：村川庸子、木下昭
藍澤光晴（龍谷大学・院）	マダガスカルにおける「インド人」排斥運動（仮）	
ジョハンナ・ズルエタ（一橋大学・院）	移動の交差する場所 — 沖縄における「帰還移民」、「home」、アイデンティティをめぐる —	
原めぐみ（大阪大学・院）	日系二世の国籍取得における動機と移住 — フィリピンで育った新日系フィリピン人の事例から —	
村井忠政（名古屋市立大学）	現代アメリカ合衆国における新移民第2世代の同化をめぐる問題 — アレハンドロ・ボルテスらの調査研究（CILS）を中心に —	
C 会場（敬学館 264）		司会：木村健二、森本豊富
アンドレ・小林・デックロウ（コロロンビア大学・院）	マルサスと農本主義の影：1920年代のブラジル移民研究で	
中山寛子（法政大学・院）	パラグアイの日系人と日本語	
下茂英輔（北海道大学・院）	西部カナダにおける日本人移住者とポストリドレス期の日系コミュニティ	
D 会場（敬学館 265）		司会：山本かほり、中山京子
パイチャゼ・スヴェトラナ（北海道大学・院）、杉山晋平（北海道大学・院）	異言語・異文化間環境を生きる若者たちの学びを"再・媒介"する教育 — 札幌市のNPOと高校の取り組みに着目して —	
吹原豊（フェリス学院大学）、助川泰彦（東北大学）	就労外国人随伴子女の言語習得をめぐる諸問題に関する予備的調査	
田中里奈（早稲田大学日本語教育研究センター）	韓国に住む元在日コリアン日本語教師のアイデンティティの葛藤	
宋巖營（立命館大学・院）	韓国の多文化家族支援センターの教育事業が結婚女性移住者の生活適応に及ぼす効果 — 全羅南道地域におけるインタビュー調査から —	

■フリー・スペース オープンを設けます！！

今大会から 参加者が自由に研究について話し合うことができるように、フリー・スペース オープンを作ることにいたしました。ぜひ、ご自分の論文の抜き刷りや、研究の概要などをお持ちになり、他の会員の方々との交流の場としてご活用ください。

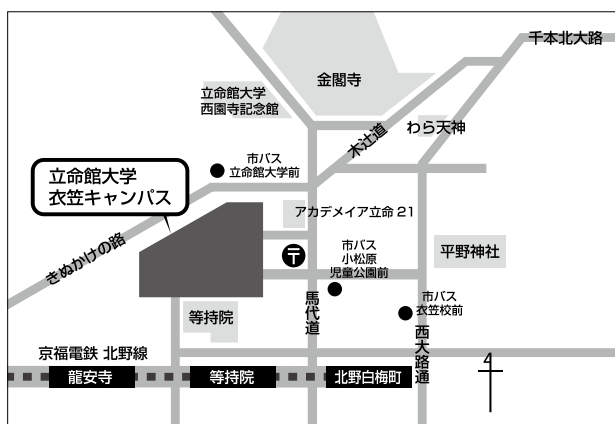
机やホワイト・ボードも用意しますので、抜き刷りのほかにポスターやビラなどの掲示にもお使いください。湯茶とお菓子の用意もごさいます。254号教室は、お弁当を食べる部屋としてもご利用いただけます。

事前の申し込みは不要ですが、今後の資料といたしますので、フリー・スペース オープンを利用してみたいとお考えの方は、大会出欠票の⑨アンケートにご協力ねがいます。

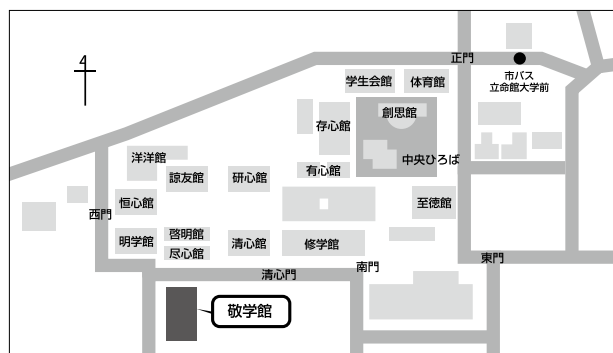
ご質問がございましたら、日本移民学会事務局 imingakkai@gmail.com までご連絡ください。

■立命館大学衣笠キャンパス地図

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1



●キャンパスマップ：敬学館



▶交通アクセスの詳細につきましては、立命館大学ホームページより、交通アクセスをご参照ください。

▶立命館大学ホームページ <http://www.ritsumeijp>